

人馬異動

夕ノ嘉手納山部隊本部ニ出張ス
 二曹長酒井傳衛具志川八三四高地附近陣地偵察實施
 三上等兵外川文雄以下三名築城材料伐木ノ多ク平田ニ派遣
 四十月二十日以來知花第三交通哨勤務中ノ一等兵定方三郎中隊復歸ス
 五一等兵岩田末三大隊本部經理室勤務ヲ命ゼシレ上江洲へ派遣
 一上等兵森田博夫大隊本部經理室勤務一等兵岩田末三ト交代中隊復歸ス
 二本日ヨリ勤務奉仕ヲ使用平田地區ニ於テ伐木ヲ開始ス

陣中日誌用紙

人馬現員 中隊長以下一七名

十月九日 雨 命

一日命

中尉 市本 政雄

第三次「」號演習現地打合々々十月九日即日歸隊ヲ以テ石部隊ニ出張ヲ命ス

二中隊ハ作命「基キ」ニ號演習陣地構築々々當間へ前進、二十時歸隊ス

三臺灣軍ノ情報ニ依レハ七日以降敵機動部隊ノ位置不明ナルモ七日「マニラ」臺灣間ニ於テ移動哨戒機二機未歸還アリ

敵機動部隊北上ノ算ナントセス

四十月二十日以來渡具知ニ於テ築城材料監視勤務

人馬異動

人馬現員

中ノ乙幹越智功以下三名中隊復歸ス
 五兵舎建築ノタメ上江洲ニ派遣中ノ兵長川上岩男
 以下八名及大隊本部經理室勤務ノ一等兵岩田
 末三第三次「」號演習參加ノタメ中隊復歸ス
 六部隊聯隊本部醫務室ニ於テ加療中ノ一等兵
 藤田林太郎治癒退室ス
 中隊長以下一四〇名

十月十日
雨 天
作 命

一山七六作命第六ニ號受領ス西女旨左ノ如シ
 「」部隊本部位置構築木作業援助多ノ左記人員ヲ
 十月十七日十四時部隊本部ニ差出シ福岡少尉ノ指
 示ヲ受ケシムハシ

第二中隊 兵二

日 命 二日 命

陣中日誌川紙

兵 長 川 上 岩 男
同 井 出 清

任陸軍伍長(十月十日附)

三無煙竈設置ノタメ上等兵千田千秋以下十六名

具志川八三四高地へ派遣ス

四各小隊第三次「」號演習參加ノタメ準備

一本日實施施豫定ノ第三次「」號演習颶風襲來ノ

タメ延期サル

ニ石垣島南方ニ七三〇ミリノ颶風アリ時速三〇キロニシテ

本十一日ラサ島東方大東島中間ヲ北東ニ向ヒ進

行中漸次増大スル見込ナリ

本夕刻本島ヲ通過スルヤモ知レス本島ハ勿論ナ南西

地區ハ陸海共嚴ニ警戒ヲ西女ス

十一月十一日
雨 天
氣象特報

中隊命令

三 颶風々水害豫防ノタメ伍長土屋榮以下三名巡
察ニ服務ス

四(一) 軍曹 荻谷正清

在白川野戰倉庫ニ於テ勤務中ノ中橋軍曹ト

交代服務スヘシ

(二) 軍曹 中橋清一

中隊給與掛ヲ命ス

(三) 上等兵 外川文雄

第五次初年兵係教育助手ヲ命ス

依而井出伍長ト交代スヘシ

一大隊日命

(一) 一等兵 大森一郎

二等兵 松永良雄

十一月十二日
晴天風強
大隊日命

入馬更動

第二次作業隊要員トシテ大隊本部勤務ヲ命ス
(二) 第二中隊ヨリ炊事要員トシテ兵一聯隊本部ニ差
出スヘシ

三 颶風々々延期トナリ第三次「」號演習十四十五兩日
實施豫定ナリ

四 上等兵 櫻上庭松藏 上等兵 外川文雄ノ交代トシテ
伐木々々平田ハ派遣

四 上等兵 外川文雄 伐木々々派遣中トコロ中隊復
歸ス

一 山七六作命第六三號受領ス西女旨左ノ如シ

(一) 部隊ハ師團防衛管内緊急道路補修強化々々
兵カヨ差出サントス

(二) 各隊ハ左ノ人員ヲ十一月十八日嘉手納師團司令部

十一月十二日
晴天
作命

人馬異動

ニ差出シ工兵第二十四聯隊ヨリ出ル道路隊長ノ指
揮ニ入ラシムハシ

第二中隊 兵一 衛生兵一

二軍曹若谷正清白川野戰倉庫勤務ノ多ク派遣
三上等兵外川文雄初年兵係教育助手トシテ上江洲
教育隊ニ派遣

四伍長印牧聰以下ニ十五名颯風ヨリ損傷ヲ蒙リシ
陣地補修多ク當間ヘ前進

人馬現員

中隊長以下十三八名

十月十四日

晴後雨

第三次に號
演習

一中隊第三次に號演習参加ヲ命セラル

(一)六時陣地配備多ク宇堅出發(第一小隊殘置)

具志川八三四高地ニ喜武屋武ヨリ到着セル

第二小隊ト合シ七時三十分配備完了

(二)八時狀況開始

(三)八時三十分第一小隊召還多ク傳令宇堅ニ前進

(四)十四時中隊長大隊本部ニ集合

(五)十四時三十分第一小隊全兵カ具志川八三四高地到着
陣地配備完了

(六)大隊ニ轉進準備命令ヲ受領ス

中隊長右命令ニ基キ具志川八三四高地ニ叉路ニ
集結 大隊集合地中隊^{前進}ヘ向ッテ前進

(七)十九時轉進開始

第二中隊大兵中隊大隊本部第二中隊第三中隊

第二機關銃中隊大隊砲小隊ノ行軍序列ニ依リ

宮里渡口ヲ經テ當間ヘ向ッ

(八)二十時三十分久場到着給與ニ實施

(九)二十四時三十分目的地タル當間秘匿陣地到着

配備着者

(一) 各小隊補強、偽装ヲ行ヒ配備完了ス

(二) 黎明時空中ヨリ統帥監視状況視察サル

(三) 状況終了

(四) 伊舎堂ニ於テ晝食實施

十二時三十分大隊長ノ引率ヲ以テ歸隊ス

(五) 十六時三十分落伍者ヲ令員宇野到着ス

(六) 十四日九時—十五日夕刻那霸南方八十哩ニ敵潜水艦散開出現ス

十月十日敵機々々動部隊ノ來襲前ノ状況ニ類似シ在リ注意ヲ要ス

(七) 海軍機三機明十六日六時那霸基地一五〇度—一七〇度ノ間五哩ヲ索偵ス

(八) 十一月十六日六時三十分—九時ノ時丙號戰備下令

(九) 十一月十六日六時三十分—九時ノ時丙號戰備下令

情報

陣中日誌用紙

十一月十六日
雨天
作命

一山七六作命第六四號受領ス要旨左ノ如シ

(一) 敵ハ其ノ機動部隊ヲ以テ「パライオ」群島方面ニ又

其基地航空部隊ヲ以テ夫々出動ヲ準備シタルモノノ

如ク近ク南西諸島ヲ攻撃スル算アリ

(二) 師團防衛擔任區域内ノ各部隊ハ當分間毎日

六時三十分—九時ニ至ル間丙號戰備ヲ下令セラル

(三) 各隊ハ十月十日南西空襲ノ戰訓ニ鑑ミ嚴ニ軍

需品ノ援護ハ分散遮蔽ヲ徹底スヘシ

之ヲ爲十一月十七日將校ヲ長トスル所要ノ機關

ヲ以テ現況ヲ調査シ之カ徹底ヲ嚴ニスルト共ニ

現況並處置事項ヲ同日十八時迄ニ報告スヘシ

中隊命令
ニ中隊命令

(一) 敵情山七六作命第六四號ノ如シ

晴 天

十一月十七日 一日 命

人馬異動

中隊長以下十四一名

軍曹 荻谷正清 交代中隊復歸ス

白川野戰倉庫勤務中ノ軍曹 中橋清一

三日 命ニ依リ本日休養實施セル

指揮シ糧秣ノ一部ヲ坑道内ニ收容スヘシ

及集積所ノ現況ヲ調査スルト共ニ兵十名ヲ併セ

一名宛ヲ指揮シ平地地區ノ集積糧秣彈藥

明日十七日春宮准尉ハ指揮班各小隊ヨリ下士官

擊子部隊ニ任スヘシ

爾後申送ルモノトス

中隊ハ丙號戰備ノ間迅速ニ掩蔽下ニ待避シ

得ルノ準備ヲ整フルト共ニ各小隊交互ニ對空射

晴 天

中隊命令

二 中隊命令

曹長 酒井 傳 衛

乙 幹 越 智 功

當分ノ間兵要地誌調査ヲ命ス

三 作命ニ依リ准尉春宮秋千代以下十三名集積彈藥

糧秣並集積所ノ現況調査タメ平地ハ派遣

四 部隊本部位置構築作業タメ一等兵八卷正章

以下二名戰鬥司令所ニ派遣

五 衛生教育隊勤務兵トシテ一等兵岡田三郎美里

衛生二等兵ヨ命シ初年次衛生兵第二期教育月修業

ノタメ山第三四八六部隊ニ派遣ヲ命ス

依而明後十九日十六時迄美里校ニ至ルハシ

國民學校ニ派遣

六大隊本部建築班勤務兵トシテ一等兵大森一郎以下三名上江洲ニ派遣

七大隊本部新炭班要員トシテ一等兵古家保白川ニ派遣

八八月二十日以來喜名野戰病院勤務中ノ衛生一等兵任務終了中隊復歸ス

九一等兵綱影重雄水虫多メ大隊本部醫務室ニ入室

馬現員 中隊長以下一三五名

土月十八日 晴天 一山七六作命第六六號受領ス要旨左ノ如シ

作命 部隊ハ白川ニ集積シテ築城(營)材料ヲ各地區ニ輸送セントス

陣中日誌用紙

(一)各隊ハ別ニホス兵力並地方車馬ヲ差出し速カニ輸送ヲ完了スヘシ

日時 自十月二十日 至十一月三日

第二中隊 越智候補生

地方車馬 三台

大隊命令 二大隊命令

各隊ハ左記ニ依リ知花第三交通哨ニ服務スヘシ

第二中隊 兵一

交代ハ十九日正午トス

中隊長會同 三十日三時中隊長安達庄作中隊長會同出席ス

メ平良川聯隊本部ハ出張

情報 四(一)パラオ島北方百五十哩ニ在リシ敵機動部隊ハ昨十七日夕 フイリッペン東方ニ在リ

(二)十八日以降臺灣南西諸島ハ警備戒ヲ要ス

第二小隊移駐

五喜屋武ニ在リシ第二小隊中隊主力ニ合流シテ
宇堅到着

人馬異動

六大隊本部鍛工班勤務兵トシテ一等兵嶺岸胞藏
上江洲へ派遣

七作命ニ依リ道路補修作業ノタメ一等兵菅原

吉藏以下ニ名嘉手納へ派遣

八九月十八日以來黄直ノタメ喜名野戦病院入院中

ノ一等兵町田正一清齋退院ス

人馬現員

中隊長以下一三三名

十月十九日
晴天
作命

一丸作命第五四號受領ス要旨左ノ如シ

(一)大隊ハ諸般ノ情勢ニ鑑ミ速ニ具志川地區ニ於ケル彈

藥ノ分散格納施設ヲ急設セントス

(二)各隊ヨリ左ノ如ク兼兵カヲ差出シ之ヲ築設ニ任

陣中日誌用紙

ヤシムシ

第二中隊 兵六

日 命 二日命

一等兵 田 中 等

鈴木 武 雄

豊 島 榮

遠 藤 長 三 郎

遠 藤 秀 清

第一年度下士官候補者ヲ命ス(十月一日附)

中隊命令
三 中隊命令

第 三 小 隊

具志川八三四高地附近ニ移駐ヲ命ス

依而二十一日出發スヘシ

四八時中隊長精神訓話「戰陣ノ戒」實施

馬異動

五大隊長宇堅地區築城作業進捗状況視察ノ
 タメ來隊
 六 一等兵松田佐門知花第三交通哨勤務ヲ命セラ
 七 大隊本部醫務室ニテ加療中ノ一等兵遠藤
 長三郎治愈退室

七月二十日
 晴天
 作命

外
 一 山七六作命第六九號受領ノ要旨左ノ如シ
 二 師團ハ降雨濕潤季ニ對處シテ洞窟收容弾藥
 及假集積弾藥整備作業ヲ強化セラル
 三 部隊ハ山七六作命第五八號ニ基テ人員ヲ引續
 キ當分ノ間差遣セントス
 四 第一大隊長ハ前項人員ヲ引續キ差出シ師團
 兵器部長ノ指揮ヲ受ケムヘシ
 五 九時聯隊長 大隊長ヲ帶同宇堅地區

馬異動

築城作業進捗状況視察ノタメ來隊
 三 伍長印牧聰兵器會報出席ノ多平良川へ出張
 四 築城(營)材料運搬作業ノタメ乙幹越智功二十日
 ヨリ二十三日マテノ間白川ニ派遣
 五 弾藥分散格納作業ノ多上等兵玉手行夫以下
 六 名大隊本部ニ派遣
 六 伍長内藤知興「カリエ」ノ疑ニテ大隊本部醫務
 室ニ入室ス

馬現員

七 去八月三十日死セシ故上等兵高橋春藏ノ遺
 骨無事旭川北部第四部隊ニ到着セル日通報
 アリ
 中隊長以下 一ニ六名
 一 第三小隊且方志川ハ三四廿向地ニ移駐

十一月二十日
 築城進捗

兩隊移駐
御賜

十一月三日

晴天

人情

馬異動

二十七日御賜品清酒ニ合大隊長ヨリ受領ス

一 本日十九時三十分石狩台監視哨東方洋上ニ大型信號彈ニ發打上ルヲ望見セリ警言戒ヲ西女ス

二 一等兵渡邊光男、一等兵中山榮ト交代勤務

夕平良川聯隊本部ニ派遣

三十日以來師團豫備彈藥格納作業ニ派遣

中ノ一等兵菅原純左足負傷多ク大隊本部

醫務室ニ入室ス

中隊長以下一五名

一日命

中尉 市本 政雄

十一月三日
晴天

陣中日誌用紙

十一月二十三日師團司令部ニ於テ實施ノ對戰車攻撃ヲ見學ヲ命ス

二十日三日以来着手セシ赤納地區對戰車壕完成ス

一 山七六作命第七二號受領ス西女台左ノ如シ

二 部隊ハ本月末ヨリ「は」號演習ニ參加セントス

三 各隊ハ演習參加ノタメ築木城築營作業ヲ中止シ戰鬥待機部署ニ便ナル如ク集結シ轉進ヲ準備スヘシ

特ニ企圖秘匿ニ關シ萬全ヲ期スルト共ニ空襲ニ對シ嚴戒スヘシ

三 演習ノ細部ニ關シテハ各大隊長ニ指示ス

二十九時命令受領者大隊本部ニ集木合左ノ如キ

十一月三日
晴天

大隊長口達

命令ヲ受領ス

大隊長口達

(一) 防謀ニ注意セヨ

(二) 部隊ハ島尻郡ニ移駐ヲ命ゼラレ大隊ハ移駐
準備ヲ速ニ行フヘシ

(三) 各隊ハ作業並兵舎構築ヲ中止シ用材ノ集
積及築城坑木ノ集積ヲ行フヘシ

(四) 必要ナル材料又ハ物品等ハ運搬ニ至便ナル
處ニ集積スヘシ

(五) 二十七日先發者出發ノ豫定

(六) 第二中隊ハ田場ニ集結スヘシ

(七) 物品購入ノタメ准尉春宮秋千代ヲ長トシ各
隊下士官一兵ニヲ差出シ先發セシム

(八) 本移駐ノ名稱ハ「は」號演習ナリ

陣中日誌用紙

(九) 陣地要圖ニ火網構成術工物等ノ位置ヲ記
入シ他部隊ニ申送りノ準備ヲセヨ
(十) 金錢關係ノ整理ヲ速ニ宣員施セヨ
(十一) 教育中ノ初年兵及歸團伐木隊派遣者ハ
残置セシム

日 命
三日命

中尉 山女達 庄 作

十一月二十四日座吉味地區ニ於テ實施ノ水際
火砲實驗射撃ノ見學子ヲ命ス

入馬異動
四大隊本部醫務室ニテ加療中ノ伍長内藤知興ハ
一等兵細影重男ヲ治癒退室ス

入馬現員
中隊長以下一三七名

十一月二十五日
一字陸地區ニ在リシ中隊主力田場地區ニ集結完